



「尚徳」 11月号 第566号 令和元年11月28日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>

題字「尚徳」は、住川英明 附属学校部長 (元校長)



一生懸命

副校長 志和俊哉

いつまでも暖かい日が続いていましたが、ようやく秋の深まりを感じられるようになりました。ラグビーワールドカップで日本全国に感動の渦が巻き起こりました。本校では、校内マラソン大会を行いました。最後まで一生懸命に走る子供たちの姿、また友達を一生懸命応援する子供たちの姿を見て感動しました。一生懸命に取り組む姿、仲間を思いやる姿は、人を感動させるのだと改めて思いました。

先日研究発表大会に参加し、そこで、佐々木洋さんの講演を聴くことができました。佐々木洋さんと聞いて誰かすぐに分かる方は少ないかもしれません。花巻東高校野球部監督で、マリナーズの菊池雄星選手やエンジェルスの大谷翔平選手を育てた方と言えば、お分かりいただけるのではないのでしょうか。

佐々木さんの話の中に、目標を達成させるポイントがいくつかありました。まず言われたのは「意識を変える」ということです。花巻東高校は私立ですが、岩手県内の生徒しか入部させないそうです。そんな学校が、全国から有望な生徒を集めている学校に勝てるわけがない。岩手県の高校を卒業した生徒がプロの選手になれるわけがない。このような意識でいると、そのとおりの結果になる。それは、携帯電話や飛行機などできるわけがないと全員が思っていたら今も存在しないことと同じです。また、大谷選手が「東北のダルビッシュ」と呼ばれていた時期があったそうです。監督は、大谷選手に「ダルビッシュを目標にするな。目標にした時点でダルビッシュを超えることができなくなる。」と言われたそうです。指導者として、生徒にどのような目標を持たせるかが最も大切だと言われていました。そして、その目標を達成させるために考え出されたのが、マスコミでよく取り上げられている「目標達成シート」だそうです。また、大谷選手がメジャーリーグにいくと報告に来たときに「引退後のセカンドキャリアを考えろ。そして、そのために今何をしないといけないか考えて行動しなさい。」と言われたそうです。この言葉はとても深い意味をもっていると思います。この考え方が目標達成シートの元になっているのだとも思いました。「いいわけをする、人のせいにする者に成功者はいない。」という言葉で話が終わりました。

目標を達成させるために一生懸命取り組んでいる子、目標を決めるために、いろいろなことに一生懸命挑戦している子など様々だと思います。しかし、共通していることは、一生懸命に取り組む姿は、人を感動させるとともに、自分を成長させるということではないのでしょうか。

12月の行事予定

4日(水) 委員会	17日(火) 6年卒業写真撮影
5日(木) 弁当の日	18日(水) 職員会議
3校時学習 弁当後下校	クリスマス読み聞かせ
6日(金) 臨時休業日(選考試検)	19日(木) 5年「雪の学校」保護者説明会
9日(月) 臨時休業日(選考試検業務)	20日(金) 校内授業研究会(図工)
10日(火) 合格者発表	研究日
1年大学生授業参加⑤	24日(火) 冬休み前全校集会
研究日	25日(水) 冬季休業日開始
県教委訪問	～1月7日(火) まで
集金引き落とし日	閉庁日
12日(木) 4年国際交流(留学生)	12月29日(日)～1月3日(金)
	1月8日(水)より、後期後半が始まります。

